

GIP-TRIAD

Newsletter

Jul. 2017

Vol.

2

CONTENTS

1 はじめに

2 活動紹介

- 江面浩 教授・岡部佳弘 助教が INRA ボルドーセンターおよびボルドー大学を訪問
- 生命環境科学研究科 生物資源科学専攻 DDP 説明会開催
- Ms. Camile Cholet 氏がつくば機能植物イノベーション研究センター長を訪問
- 熊谷嘉人 教授 (GIP-TRIAD 準備室長) がボルドー大学 (UB) を訪問
- Fusion of Field and Laboratory Studies (台湾)
- ベントン・F・キャロライン 国際担当副学長の訪問と同窓会
- 2017 年度 4 月より筑波大学—京都大学—国立台湾大学 遠隔講義を開始
- 国立台湾大学生物資源・農学院で生物資源学類の新たな遠隔授業の構築と Campus-in-Campus (CiC) プログラムの普及活動
- 「国立台湾大学との学生交流プロジェクト」において DDP と GIP-TRIAD を紹介
- 王貞治—林華章—永田恭介 三者鼎談記事の本学広報誌への掲載
- 熊谷嘉人 教授 (GIP-TRIAD 準備室長) が国立台湾大学 (NTU) を訪問

3 編集後記



1 / はじめに

2017年第2号では、GIP-TRIAD に関する協議および関連施設見学を目的とした GIP-TRIAD 関係教職員の台湾およびボルドー訪問について報告致します。また、最近の国立台湾大学およびボルドー大学との学生交流、ダブルディグリープログラム (DDP)、学内イベント等の活動状況などを合わせて紹介します。

2 / 活動紹介

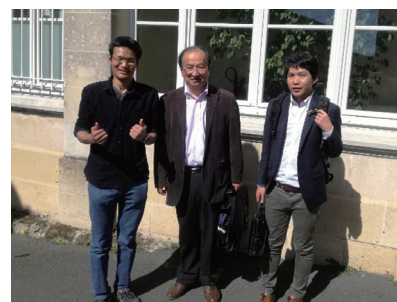
… 江面浩 教授・岡部佳弘 助教が INRA ボルドーセンターおよびボルドー大学を訪問

2017年3月27-29日に、生命環境系の江面浩 教授 (つくば機能植物イノベーション研究センター長、前生命環境科学研究科長)、岡部佳弘 助教がボルドー大学およびフランス国立農学研究所 (INRA) ボルドーセンターを訪問しました。

まず3月27日に INRA ボルドーセンターにおいてセミナーを行い、4月1日に発足したつくば機能植物イノベーション研究センター (T-PIRC) の紹介を行いました。また、2008年に INRA との間で設置された日仏ジョイントラボ (TIL) の枠組みをボルドー大学に拡大する新しいフレームワーク・国際共同ラボ (International Associate Laboratory, LIA) の立ち上げについて、同センターの Christophe Rothan 博士、Pierre Baldet 博士、ボルドー大学の森健太郎 准教授らと協議しました。INRA セミナーでは本学ボルドーオフィス駐在教員の松倉千昭 教授が、現在、設置準備中のグローバルイノベーション学位プログラム (GIP-TRIAD) ならびに2015年度から生命環境系で始まったダブルディグリープログラム・グローバルフードセキュリティーコース (DDP-GFS) 等について紹介を行いました。また、29日には、ボルドー大学博士課程健康生命科学研究科 (Doctoral School of Health and Life Sciences) ディレクターの Antoine de Daruvar 教授ならびに Dominique Rolin 教授、Michel Hernould 教授、森健太郎 准教授と、DDP-GFS の博士課程開設について話し合いを行いました (筑波大側からは江面浩 教授、松倉千昭 教授、岡部佳弘 助教が参加)。

上記の日程と並行して、一行は DDP-GFS で現在 INRA-Bordeaux センターに滞在中の武井瞳 さん (生物資源科学専攻2年次) および同プログラム第二期生として10月から筑波大学に滞在予定の Guillaume Decros 君と面談を行うと共に、ボルドー大学の Dominique Rolin 教授、INRA ボルドーセンター UMR1332 サブディレクターの Christian Chevalier 博士と、今後の連携について幅広い意見交換を行いました。また、本学ボルドーオフィス、大学寮を視察すると共に、現在、生物資源学類からボルドー大に交換留学中の瀬尾昂紀 君と面談を行いました。

上記の活動を通して、当研究科とボルドー大学、INRA の連携が教育・研究の両面でより一層深化していくことが期待されます。



左 : INRA ボルドーセンターにおいて T-PIRC の紹介を行う江面浩 教授。

中央 : ダブルディグリーで滞在中の本学学生との面談。

右 : ボルドー大学寮を視察。交換留学で滞在中の生物資源学類学生と (左から、瀬尾昂紀 君、江面浩 教授、岡部佳弘 助教)

… 生命環境科学研究科 生物資源科学専攻 DDP 説明会開催

2017年4月10日、生命環境科学研究科 生物資源科学専攻において DDP 説明会が開催されました。はじめに山岡裕一 専攻長より DDP の概要について説明があり、その後、各サブコース（協定校）の担当教員よりボルドー大学（草野都 教授）、国立台湾大学（北村豊 教授、阿部淳一ピーター 助教）、ユタ州立大学（ティラー・デマー 教授）における DDP の紹介がありました。また、ボルドー大学へ DDP-GFS 第1期生として留学し、DDP（修士課程）の学位を取得した浅地真木 氏に現地での留学経験、就職活動について話をいただきました。参加学生からも積極的に質問があり、留学に対する意欲、高い関心が窺えました。多くの高い志を持った学生が DDP へ参加してくれることを期待します。浅地真木 さんの留学レポートは、こちらの URL (http://www.life.tsukuba.ac.jp/activity/Global_Food_Security_Course_report_by_Mr_Asaji_in_University_of_Bordeaux_final_20170407.pdf) より参照できます。



左上：DDP 概要を説明する山岡裕一 専攻長
右上：留学経験談を語る浅地真木 氏
左下：NTU との DDP 概要を説明する北村豊 教授
右下：説明会参加者

… Ms. Camile Cholet 氏がつくば機能植物イノベーション研究センター長を訪問

2017年5月24日、ボルドー大学職員の Camile Cholet 氏、グローバルcommons機構の油原ゆう子 氏がつくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRK）長を訪問しました。江面 センター長より研究センターの概要説明があり、その後、研究センターの施設見学をしました。

センター訪問と併せ、現在、本学に留学している DDP-GFS の学生2名（Linejy Tavors 氏、Mathieu Bruggeman 氏）、研究生1名（Johan Hunziker 氏）との面談を行い、日本とフランスにおける生活、授業形式、学生支援体制について意見交換を行いました。



左：ボルドー大学学生との面談、中央、右：T-PIRKの施設見学

… 熊谷嘉人 教授（GIP-TRIAD準備室長）がボルドー大学（UB）を訪問

2017年6月7日－9日、熊谷嘉人 教授（GIP-TRIAD 準備室長）、市川政雄 教授、大庭良介 准教授、岡部佳弘 助教、安孫子ユミ 助教、教育推進部職員3名（中上聡夫 氏、栗原宏太 氏、小泉裕太 氏）がボルドー大学（UB）を訪問しました。今回の訪問は、9月に開設予定の GIP-TRIAD を共同で運営するに当たっての事前調整及び UB でのプログラム実施のための教育研究・学生支援施設の視察を目的として行われました。現地では本プログラムの現地コーディネーターである松倉千昭 教授、筑波大学ボルドーオフィス所長の木島謙次 教授と合流しました。7日午前は Dominique Rolin 教授をはじめとする GIP-TRIAD 担当教員及び Frédéric Bertrand International Partnerships Officer (Africa-Asia) をはじめとする事務職員と、フランスにおけるジョイントディグリープログラムの枠組み及びフランスにおけるビザ申請の手続き等について意見交換を行いました。午後は UB でのフィールド実習の候補先となっている Planète Végétal 社及び Château Couhins を訪問しました。8日の午前中は前日に引き続き UB 関係教職員と UB における学籍登録、修了判定等について意見交換を行いました。午後は Vincent Dousset UB 国際担

当副学長主催の昼食会に出席すると共に、Talence キャンパス (College of Science & Technology) の CROUS 学生宿舍、図書館、教室等の施設を視察しました。また、UB の提携機関で GIP-TRIAD にも協力・参画する予定の Bordeaux Sciences Agro (グランゼコール) を訪問し、-Olivier Lavalie 校長、国際交流担当兼植物科学部ディレクターの Jean-Philippe Fontenelle 教授、Catherine Benneteau 教授ら GIP-TRIAD 関係教員と意見交換を行うと共に、Bordeaux Sciences Agro の施設を視察しました。

9日午前は INRA-Bordeaux センター (Green キャンパス) において筑波大学・国立台湾大学・UB 合同の GIP-TRIAD テレビ会議を開催し、前日の打合せを踏まえた修了判定のスケジュールや本プログラムの各小委員会の運営について意見交換を行いました。午後は Carreire キャンパスに移動し、熊谷教授・市川教授・大庭教授によるUB 学生・教職員を対象とした研究紹介セミナーを開催するとともに、GIP-TRIAD、グローバルフードセキュリティ・ダブルディグリープログラム参加予定学生と懇談しました。このような訪問を相互に行うことにより、プログラムの円滑な運営と、学生のよりよい教育研究環境の確保に寄与することが期待されます。



- ① : UB 関係教職員との意見交換
- ② : Vincent Dousset UB 国際担当副学長・熊谷教授
- ③ : 意見交換後の集合写真
- ④ : Château Couhins 訪問
- ⑤ : Bordeaux Sciences Agro 訪問
- ⑥ : Planète Végétal 社 訪問
- ⑦ : Planète Végétal 社 訪問
- ⑧ : 研究紹介をする熊谷教授
- ⑨ : ボルドー大学の GIP-TRIAD 参加予定学生、DDP 学生との面談

… Fusion of Field and Laboratory Studies (台湾)

2016年度も GIP 科目 Fusion of Field and Laboratory Studies プレ科目を実施しました。2017年3月9日－18日にかけて筑波大学医療科学類より6名の学部生が参加しました。テーマは台湾生物資源の医科学への活用です。3月10日から12日まで NTU 溪頭実験林でのフィールドワークと試料採集、3月13日から16日まで NTU の Tang-Long Shen 先生のラボで、試料の同定、成分抽出、成分の癌細胞への効果、を実験的に調べました。17日には学生それぞれが成果を発表しました。台湾茶の体験など、文化的なエクスカージョンも実施しました。Shen 先生、Shen 先生のラボの学生とスタッフをはじめ、多くの方にご助力いただきました。



左：集合写真



中央：フィールドワークの様子



右：文化体験 (お茶)

… ベントン・F・キャロライン国際担当副学長の訪問と同窓会

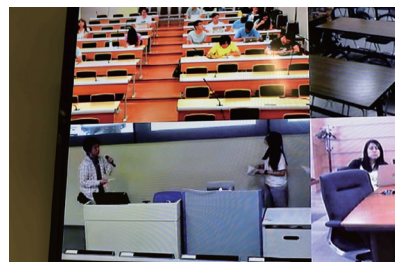
2017年3月21日、本学のベントン国際担当副学長が高雄で開催された APAIE（高等教育機関の国際会議）に出席され、途中、台北で開催した茨城県人会、筑波大学台湾校友会、筑波大学台湾オフィス合同の懇親会に出席されました。台湾校友会からは、林華章 会長をはじめとして多くの方に参加いただきました。また、DDP など筑波大学と国立台湾大学で勉強中の学生にも参加いただきました。



集合写真

… 2017年度4月より筑波大学—京都大学—国立台湾大学 遠隔講義を開始

2017年度も遠隔講義（筑波大学—京都大学—国立台湾大学）がスタートしました。本科目は NTU での GIP-TRIAD 学生の必修科目となります。



遠隔講義の様子

… 国立台湾大学生物資源・農学院で生物資源学類の新たな遠隔授業の構築と Campus-in-Campus (CiC) プログラムの普及活動

2017年3月16日－18日、北村豊 生物資源学類長、茂野隆一 教務担当教員と台湾大学に訪問し、生物資源工学や食品科学系の科目の遠隔授業の開講に向けた調整を行いました。その際、筑波大学教育推進部土居新治 氏より Skype を用いた CiC の紹介を行いました。

… 「国立台湾大学との学生交流プロジェクト」において DDP と GIP-TRIAD を紹介

スーパーグローバル大学創成支援事業の一環で「国立台湾大学との学生交流プロジェクト」が行われ、第一回目では、2016年12月2日～4日に筑波大学の学生20人が国立台湾大学を訪問し、台湾大生20人とグループディスカッションなどを行ないました。2017年5月19日～21日、それに続き第二回目のイベントが開催され、この回では台湾大生が筑波大学を訪問し、グループディスカッションを実施しました。詳細は <http://www.tsukuba.ac.jp/news/n201705221815.html> を参照してください。5月19日のイベントでは、筑波大学に留学中の国立台湾大学 DDP 生と国立台湾大学に9月から留学する筑波大学 DDP 生にダブルディグリープログラム (DDP) の紹介と Q & A に対応してもらいました。また、GIP-TRIAD や Campus-in-Campus の新しいプログラムの紹介も併せて行いました。高いモチベーションを持った留学希望者が増えることを期待します。



上：国立台湾大学と筑波大学 DDP 生
(筑波大学グローバルビレッジ
コミュニティステーション内)

下：DDP と GIP-TRIAD の紹介の
様子

… 王貞治・林華章・永田恭介 三者鼎談記事の本学広報誌への掲載

2016年11月に台中 (台湾) で開催した、王貞治・林華章・永田恭介 三者鼎談の記事が、4月発行の本学広報誌 (ツクコム) に掲載されました (<http://www.tsukuba.ac.jp/public/booklets/communications/pdf/201704.pdf>)。野球を通し、プレーヤー (学生)、監督 (ラボヘッド)、組織マネージャー (学長など) のそれぞれの立場で大切なことが語られています。



鼎談記事



… 熊谷嘉人教授 (GIP-TRIAD 準備室長) が国立台湾大学 (NTU) を訪問

2017年5月15日ー16日、熊谷嘉人 教授 (GIP-TRIAD 準備室長)、阿部淳一ピーター 助教、教育推進部職員3名 (荒井陽子 氏、綿鍋淳子 氏、松金ゆうこ 氏)が NTU を訪問しました。

15日午前中、一行は、Luisa Shu-Ying Chang 国際担当副学長との面会の後、NTU における GIP-TRIAD の新プログラムリーダー Tsai-Kun Li 教授及び国際事務処の職員とプログラムの実施体制、学生受入手続きの実務に関するミーティングを行いました。午後、GIP-TRIAD のオフィスが置かれている医学院を訪問し、Shan-Chwen Chang 院長と会談しました。続いて、熊谷 教授の講演とプログラム説明会が行われ、関係教職員だけでなく、9月からの学修を希望している学生5名も参加し、交流を深めました。

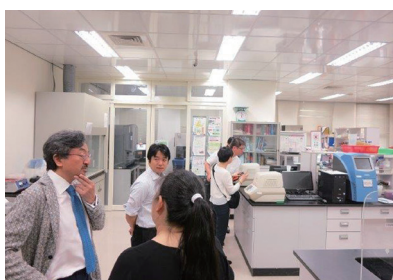
今回の訪問では、NTU の教育研究環境の視察も行い、Chang-Chuan Chan 教授 (公共衛生学院)、Hsinyu Lee 教授 (生物技術研究センター)、Ming-Ju Chen 教授 (生物資源・農学院)、Chau-Ti Ting 副教授 (生命科学院)の手配、案内により、GIP-TRIAD で使用することになる各組織の実験室、教室等を見学しました。また、GIP-TRIAD の学生が入居予定の水源宿舍を訪問し、宿舍運営会社の方から、設備や環境について詳細な説明を受けました。

今後もこのような教職員の交流を相互に行うことにより、円滑なプログラム運営ならびに教育研究環境の構築に役立つものと期待されます。



演 講 公 告

- 講題: The Chemical Biology of Environmental Electrophiles
- 講者: Yoshito Kumagai, Ph.D.
Professor, Environmental Biology Laboratory, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Japan
- 時間: 106年5月15日(星期三)下午3:40-4:40
- 地点: 基醫大樓202簡報室
- 主辦單位: 台大國際三校農業生技與健康醫療碩士學位學程 (GIP-TRIAD, NTU)



左 上: 国際事務処でのミーティング
中央上: 医学院訪問
右 上: 熊谷教授講演会ポスター
左 下: 熊谷教授講演会・プログラム説明会の様子
中央下: 生命科学院の実験室視察
右 下: 水源宿舍外観

5月から6月にかけて、国立台湾大学、ボルドー大学を訪問し、GIP-TRIAD 関係教職員との直接対話を通して、各大学の担当者間における具体的な意見交換を行うことができました。引き続き、現地における本学駐在教員、学生、海外オフィスの情報をより一層充実させていく予定です。皆さまにとってより有益なニュースレターにしたいと考えておりますので、ご意見・ご要望等ございましたら、以下の連絡先へ問い合わせください。

筑波大学 生命環境系 助教 岡部佳弘

【連絡先】 E-mail: okabe.yoshihiro.gp@u.tsukuba.ac.jp / Tel: 029-853-6005